

令和6年1月 発地別延べ宿泊者数割合

【国内】

(単位：人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和6年1月(速報値)	43,563	89,012	45,131	6,908	18,646	31,027	13,300	56,403	5,481	309,471
令和5年1月(速報値)	39,215	72,382	36,273	5,447	15,791	23,234	9,741	48,343	4,008	254,434
前年同月比	111.1	123.0	124.4	126.8	118.1	133.5	136.5	116.7	136.8	121.6
令和元年1月(確報値)	54,766	83,612	44,806	8,550	22,153	22,718	9,400	41,582	3,983	291,570
令和元年同月比	79.5	106.5	100.7	80.8	84.2	136.6	141.5	135.6	137.6	106.1
令和5年12月(速報値)	55,264	95,283	51,565	7,537	20,594	32,155	13,969	62,155	5,433	343,955
前月比	78.8	93.4	87.5	91.7	90.5	96.5	95.2	90.7	100.9	90.0

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和6年1月(速報値)	56,903	5,315	10,165	13,648	3,182	1,815	2,266	93,294
令和5年1月(速報値)	32,195	644	2,868	5,363	2,692	1,634	1,191	46,587
前年同月比	176.7	825.3	354.4	254.5	118.2	111.1	190.3	200.3
令和元年1月(確報値)	64,569	8,191	5,034	12,010	959	1,225	1,022	93,010
令和元年同月比	88.1	64.9	201.9	113.6	331.8	148.2	221.7	100.3
令和5年12月(速報値)	55,023	5,494	17,038	12,131	5,723	5,902	4,261	105,572
前月比	103.4	96.7	59.7	112.5	55.6	30.8	53.2	88.4

【全体】

	合計
令和6年1月(速報値)	402,765
令和5年1月(速報値)	301,021
前年同月比	133.8
令和元年1月(確報値)	384,580
令和元年同月比	104.7
令和5年12月(速報値)	449,527
前月比	89.6

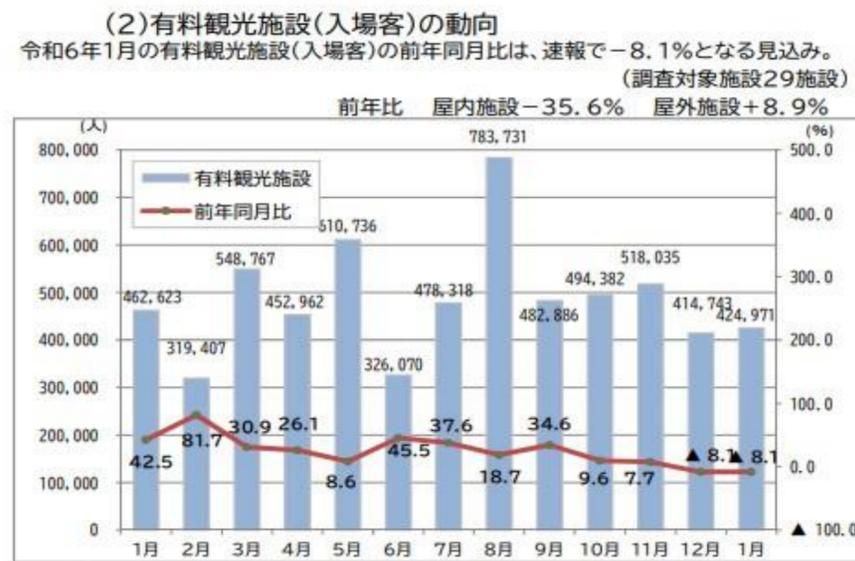
- ①調査対象施設は従業員数10人以上の全施設(189施設 令和6年1月時点)
- ②令和元年の数値については、上記①の施設数をもとに推計しています。
- ③発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊客数は、前月比90.0%、前年同月比121.6%。コロナ禍前の令和元年同月比は106.1%。年末の旅行需要が高かった前月と比べると9割程にとどまるものの、前年及びコロナ禍前と比べると増加している。
- ・国外の延べ宿泊客数は、前月比88.4%、前年同月比200.3%、コロナ禍前の令和元年同月比は100.3%となった。日韓関係の影響がまだあまりなかった令和元年1月と比較すると韓国からの宿泊客は88.1%にとどまるものの、香港やタイ、欧米豪などを中心に増加傾向となっており、令和6年1月は韓国・台湾・香港からの宿泊客で全体の国外宿泊客の約86%を占めている。
- ・全体の延べ宿泊客数は、前月比89.6%、前年同月比133.8%、コロナ禍前の2019年同月比も104.7%となっている。

令和6年1月の宿泊客等の動向
(令和5年1月～12月速報、令和6年1月速報)



※観光施設の対前年比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

＜傾向・分析＞

- ・日本人宿泊客は、令和5年5月から新型コロナウイルスが5類に移行されたことなどから感染症による影響はほとんどなく大きな減少はなく推移している。
- ・外国人宿泊客は、令和4年10月に新型コロナウイルスによる水際対策が大幅に緩和されたことにより順調に回復しており、特に令和5年10月以降は更に増加しており、令和5年12月はコロナ禍以降最多となった。
- ・一方有料観光施設の入場客数は、令和5年12月に続いて令和6年1月は今も前年同月比マイナスとなった。
- ・全体においては、令和5年度以降特にインバウンドの回復が顕著であり、コロナによる行動制限等がなかったこと等により国内外ともに順調に推移している。